

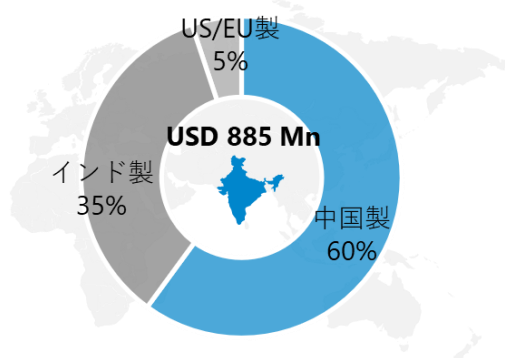
ACSL、インド企業より約1.4億円の大型案件を受注

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：鷲谷聡之、以下、ACSL）は、本日、インド企業より約1.4億円（8,000万ルピー）の大型案件を受注いたしました。受注を受けたドローンは、現地合弁会社であるACSL India Private Limited（以下、ACSL India）に生産を委託します。

インドのドローン市場は、2021年時点で推計8.9億ドルの規模がある一方、2022年2月より Made-in-India を推進するために外国製ドローンの完成品が輸入禁止になり（Drone Shakti Scheme）、インド国内でドローンを販売するためには、インド生産、かつ型式認証を取得することが必要となりました。それにより、これまで中国メーカーが約6割のシェアを占めてきた市場は、大きな変動期を迎えていると言えます。

ACSLは2022年1月28日に中期経営方針「ACSL Accelerate FY22」を公表し、事業戦略の1つとして「インド市場の本格的な立ち上げ」を掲げております。2021年9月に現地合弁会社のACSL Indiaを設立し、Made-In-Indiaに適合する活動および現地サービスパートナーと販促活動を推進してまいりました。

そうした活動により、この度、約1.4億円の大型案件を受注いたしました。受注を受けたドローンはACSL Indiaで生産を実施し、Made-In-Indiaに適合するプラットフォーム機体として2023年に納品予定となります。



インドにおけるドローン市場（2021年）



インドにおけるドローン飛行の様子

ACSLは、持続可能なグローバル・メーカーになることを目指すべく、ACSL Indiaとともに産業用ドローンの市場拡大が期待されるアジア地域の中でも、特にドローン関連産業の市場も大きいと見込まれるインドにおいて、今後も積極的に事業を推進してまいります。

【株式会社ACSLについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

ACSLは、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AIのエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社ACSL 担当：廣嶋（ひろしま）

Tel: 03-6661-3870 Email: sales@acsl.co.jp

以 上